

## 豊橋市・豊川市農業委員会との 意見交換会を開催しました

1月29日(月)、豊橋市・豊川市農業委員会との意見交換会を開催しました。豊橋市から13名、豊川市から14名が、本市からは18名の農業委員が出席しました。

今回は、農業経営の規模拡大、農地などの集団化、耕作放棄地の発生防止・解消や農業への新規参入の促進について、内容ごとにグループで分かれて話し合いました。農業委員は活発な意見交換を行うとともに、農地の借り手・貸し手、買い手・売り手をどう結びつけるか、農業後継者へのアプローチ、事業者の農業への参入対応など、最近の農業をとりまく情勢について認識を新たにしました。



●活発な意見が交わされました

## 豊川用水のトンネル工事現場を 視察しました

平成29年12月22日(金)、現在高松町で行われている豊川用水のトンネル工事を視察しました。

豊川用水は昭和43年の全面通水からまもなく50年が経過することから、設備の老朽化が始まっており、大地震による水路の破損などが特に心配されます。そこで、この工事で新たに山中を通過する長さ757メートルのトンネルを新たに開削し、従来の水路と共に使用できるようにすることでした。

工事は、まず作業用の大きなスペースを確保した後、トンネル入口の前に線路を敷き、バッテリーを積んだ機関車がレール上で開削機を押しながら掘削口へ運びます。

開削機が穴を開けると、今度とは別の機械が入り、掘った部分を



●トンネル内の様子

コンクリートで固めていき、トンネルが崩れるのを防ぎます。線路は掘り進むに従って継ぎ足していきます。

見学では、掘削に使用している機械や、掘削工事中のトンネル内を見ることができました。

この工事は24時間体制で行いますが、一日で掘り進む距離は数メートルから、岩盤などに突き当たったときにはわずか数センチ程度のことです。

工事現場を見学しながら、掘削に使用する機械の大きさやトンネル掘削工事の難しさ、慎重な工事の進め方などに驚くと共に、渥美半島の農業を支える豊川用水を維持するために、こうした工事が行われているということを改めて実感しました。

なお、この工事の竣工予定は平成31年6月とのことでした。



●トンネル前で記念撮影

## 全国農業新聞で最新の農業の情 報を手に入れませんか？

全国農業新聞は、毎週金曜日発刊で農業に関するホットな話題が掲載されています。

### ◆特徴

①農業・農政に関する最新の情勢が分かりやすい解説と共に掲載されている  
②経営・流通の最新情報が満載である  
③全国各地の新たな農業への取り組みを知ることができる

④暮らしに役立つ情報が満載である  
⑤農産物を生かした料理のレシピが掲載されている

⑥女性の元気を応援している  
⑦文字が大きく読みやすい

### ◆購読料

月額700円

### ◆申込

農業委員会事務局へ電話にて

